

第15回佐世保市子ども・子育て会議 議事録（要約版）

日時：平成30年11月7日（水）19時～21時

場所：佐世保市中央保健福祉センター

（すこやかプラザ） 8階講堂

議事（1）次期「新させほっ子未来プラン」の策定について

①子ども・子育てを取り巻く現状と課題について

②子ども・子育てに関する基礎調査について

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<p>(医療費の保護者負担について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐世保市は少しずつ改善してきている。一方で、医療者側（診療する側）のマンパワーが不足している。</li> </ul> <p>(放課後児童クラブについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが巻き込まれる事件が頻発している。不審者情報も多い状況にある。そのような中で、本当に安全だと思えるところは学校である。余裕教室を活用して、放課後を学校で過ごせるようにしてほしい。</li> </ul> <p>(医療費について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昔と比べて医療費の補助は充実してきており、今の保護者がうらやましく思う。</li> </ul> <p>(虐待の相談について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>虐待相談対応改善率の指標があるが、これはどこからの相談が多いのか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善率の目標値が50%というのは低いのではないか。対応ケースの悪化の防止率などに変えてはどうか。</li> <li>相談を受けてそこから悪化することは考えにくい。相談対応からの改善率は100%に近いのではないか。</li> <li>児童相談所などと協議して決めてはどうか。</li> </ul>	<p>【子ども子育て応援センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関から、こういう相談があるが、市では把握しているかとの問い合わせが多い。現在継続的に支援しているケースについては、様々な関係機関から応援センターへつながった結果となっている。</li> </ul> <p>【子ども子育て応援センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の改善を数字で表すのは難しいと感じている。今後、指標の見直しも検討したい。</li> </ul>

- ・虐待は増えているというところが実際なのか。
- ・虐待相談は、関係機関のネットが張られれば、それだけ相談件数も増えるのが難しい。

(病児保育について)

- ・市民意識アンケートに病児保育の改善の要望が出ているが具体的にはどういう状況なのか。

(育児休暇について)

- ・育児休暇が実際にはとれていないという意見がある。収入が激減するため経済的に難しかったり、企業側も育児休暇を見越した人員体制をとる体力がなかったりしている。行政側ではどのような取組みを考えているか。

(不妊治療について)

- ・不妊治療が不足しているという意見があるが市では実施していないのか。

(議論の方向性について)

- ・病児保育や就学前児童の施設整備といった議論も必要だが、子どもが病気の時に休めるようにする取り組みや保育の質についての議論を今度の計画策定に向けてはしていくべき。

(子育てしやすい労働環境について)

- ・子育ては一つの大きな生きる目的となっている。であればこそ授業参観日ぐらい休めるようになって欲しい。しかし現実問題として経営的に難しいとして休ませていないところも多い。子育てしやすさというのはこれからの時代の企業にお

**【子ども子育て応援センター所長】**

- ・新規の相談については100件前後で推移してきている。要対協など関係機関で連携する場もできてきた。関係機関と地域で子どもたちを見守っていくという網の目を細かくしていくところを今後の目標にしていきたい。

**【子ども支援課長】**

- ・本市では保育所併設型がない。そのため、通っている保育園とは別の所にわざわざ預けに行く必要があることなどが考えられる。

**【子ども未来部長】**

- ・市ではイクボス宣言を行ったところであり、今後は市内の企業にも参加してもらい、意識啓発を行いたいと考えている。

**【子ども保健課長】**

- ・不妊治療を行っている医療機関が少ない等の状況はあるが、今年から治療の助成事業については他市で行われていない部分の人工授精の治療の助成が始まるなど一定、実施している。

<p>いては大きな魅力の一つであり、社会的な責任でもあると思う。頭が固い人たちをどう柔らかくしていくかが課題である。</p> <p>(余裕教室について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>余裕教室はあると思う。学校としては安全面・財政面等、管理が気になって放課後に開放できていないと思う。</li> <li>空き教室を活用しているところでは、意外と簡易な設備で行っているところもある。</li> </ul>	<p><b>【子ども未来部長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き教室の活用については総合教育会議という場で、市長部局と教育委員会が連携しながら進めていきたいと話をしており、近々教育委員会と話をする機会があるので、本件について改めて伝える。</li> </ul>
---	---

**(議事(1) 次期「新させぼっ子未来プラン」の策定について)**  
**③今後における調査審議の方法について (各議事における総括的な意見も含む)**

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<p>(アンケート全般について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>把握すべきことを聞いて、当会議としてはその結果をどう読み解くかが大事だと思う。</li> </ul> <p>(県子どもの生活実態調査について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者としては非常に突っ込んだものだと感じる。可能であるならば改善してほしかった。シングル家庭により配慮があるべきだと思う。</li> <li>唐突に込み入ったことを聞く印象。届いても答えたくない。</li> </ul> <p>(障がいのある子どもの学童利用について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校に上がって、学童を利用するにも障がいがあるから利用できないという声もあるので、支援ができる体制をつくっていただきたい。</li> </ul> <p>(幼児教育の無償化について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てで特に保育料にお金がかかっている。教</li> </ul>	<p><b>【子ども政策課長補佐】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県には方法論などについては意見を聞いてもらえたが、質問内容については先行調査を参考に、県の会議や有識者のアドバイザー会議の結果をもとに、全国と比較できるようにしているようであるため、非常に厳しい面があったと認識している。</li> </ul> <p><b>【子ども政策課長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市・県の各々の調査について、さまざまな意見があると思うが、その中で回答してもらう貴重なデータであるので、各委員の要望、意見を踏まえて、分析の工夫、対策の具現化というところに注力していきたい。</li> </ul>

育・保育の無償化については 0～2 歳児は対象になっていない。国での取り決めにはなるが、無償化の対象年齢はそれでよいのかと思う。

(アンケートの回収率について)

- ・ 市と県のアンケートの実施時期が近い。回収率に悪影響があるのではないかと思う。

(保育士の待遇について)

- ・ どのような家庭であっても支援したいと考えているが、人材が不足している。保育士の給料が低いことが課題である。

(児童クラブについて)

- ・ 数は増えてきているので、内容の充実も進めていくべき。

(虐待について)

- ・ 市の事業実施状況のモニタリングが必要。
- ・ アンケートに虐待のことが入っていないが、アンケートで聞くのは難しいと思う。代わりに保育園の先生に聞くなども 1つの方法であると思う。

(子育てに関する情報提供について)

- ・ 初めて子育てする方への情報提供が少ないという意見もあった。今後、情報発信について、市がどのようにしていくのか方針を聞きたい。

(今後の子育て支援の方針について)

- ・ 働く世代の減少で税収も減ると思われる中では、子どもは地域で育てるという意識が重要だと思う。